

## 第3分冊

# 老化・認知症・障害の理解

第6章 老化の理解

第7章 認知症の理解

第8章 障害の理解



# このテキストで学習する方のために

## 1. はじめに

わが国は、世界のどこの国も経験したことのない高齢社会に向かっています。このような社会的背景から介護サービスを必要とする人の増加が見込まれ、また介護サービスへのニーズも認知症ケア、医療的ケア、介護予防の推進など多様化・専門化してきています。このため、介護に関する高度な専門性を有する人材育成が急務となっています。

本テキストは、2013年度からスタートした初任者研修のために編集したもので、指導要領に即した構成となっております。介護の専門家を目指す皆様が、初任者研修で介護の基本的な知識を学び、将来は、より高度な知識・技術を習得し、質の高い介護サービスを提供できる専門家として福祉の担い手となられることを願ってやみません。

公益財団法人 介護労働安定センター

## 2. 作成の基本理念

- (1) 在宅、施設の双方に共有できるような知識や介護技術を学べる内容としました。
- (2) 介護分野に携わる人が初めて学ぶテキストとして、わかりやすく理解しやすくなるように、イラスト・図表・写真を配置しました。
- (3) 「事例から考える」という観点で展開例を取り入れ、介護技術を実践的に学べるような内容としました。
- (4) 学んだことを自己学習を通して整理できるように、各章の末尾に○×解答形式の「理解度確認テスト」を設けました。（「第1章」「第10章」には設けておりません。）
- (5) 継続的に学習する上で重要な事項を整理できるように、単元の末尾に「今後の学習のためのキーワード」を設けました。
- (6) 厚生労働省の「介護員養成研修の取扱細則(介護職員初任者研修関係)」に則した内容・構成としました。（平成24年3月28日 厚生労働省老健局振興課通知）
- (7) 「障害」を表現する用語として、「障がい・<sup>しょうがい</sup>障碍」を用いる場合がありますが、本書では、法令との整合性を図る観点から「障害」を用語として用いることとしました。

## 3. その他

今後、介護保険法の改正等の内容を含む補てん・追記があれば、（公財）介護労働安定センター ホームページ (<http://www.kaigo-center.or.jp>) に随時掲載いたします。

## 4. 介護職員初任者研修テキスト編集委員会委員（50音順）

委員・・・是枝祥子（大妻女子大学名誉教授）

委員・・・鈴木真理子（社会福祉法人奉優会理事）

委員・・・高橋龍太郎（元東京都健康長寿医療センター研究所副所長）

事務局・・・（公財）介護労働安定センター 能力開発課

# 目次

## 第6章 老化の理解

第1節 老化に伴うところとからだの変化と日常	2
1 老年期の発達と心身の変化の特徴	2
2 心身の機能の変化と日常生活への影響	7
第2節 高齢者と健康	17
1 高齢者の疾病（老年症候群）と生活上の留意点（外科系）	17
2 高齢者に多い病気と生活上の留意点（内科系）	30
*理解度確認テスト	54

## 第7章 認知症の理解

第1節 認知症を取り巻く状況	58
1 認知症ケアの理念	58
第2節 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	62
1 認知症の概念と原因疾患・病態	62
2 原因疾患別ケアのポイントと健康管理	74
第3節 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	78
1 生活障害、心理・行動の特徴	78
2 利用者への対応	87
第4節 家族への支援	98
1 家族との関わり方	98
*理解度確認テスト	102

## 第8章 障害の理解

第1節 障害の基礎的理解	106
1 障害の概念とICF（障害者福祉の基本理念）	106
第2節 障害の医学的側面の基礎的知識	111
1 肢体不自由（身体障害）	111
2 内部障害	118
3 視覚障害・聴覚障害	124

4	音声・言語・咀嚼機能障害	130
5	精神障害	133
6	統合失調症	135
7	躁うつ病等	138
8	神経症性障害（神経症）	141
9	アルコール依存症	144
10	知的障害	147
11	発達障害	149
12	ダウン症	153
13	高次脳機能障害	155
<b>第3節 家族の心理の理解、かかわり支援の理解</b>		<b>160</b>
1	家族の心理・かかわり支援	160
	*理解度確認テスト	166
	索引	170
	執筆者一覧	176